

関西文化学術研究都市での最先端研究の推進について

【担当省庁】 文部科学省

With コロナ社会にふさわしいスマートシティの実現を目指す関西文化学術研究都市において、大学や研究機関等あらゆる主体が相互に交流し、イノベーションの創出に一層取り組めるよう、以下のとおり対応をお願いしたい。

○けいはんなリサーチコンプレックス事業（平成 28 年度～令和元年度）において構築されたグローバル・イノベーション・エコシステムを基礎に、多様な大学等の力を活用し産学官共創拠点の形成を図るため、「共創の場形成支援」における本都市の産業連携拠点形成への支援

○理化学研究所における疾患特異的 iPS 細胞の利活用の促進を目的とした iPS 細胞創薬基盤開発連携拠点の総合的な機能強化及び人と AI・ロボットが柔軟に共存する未来社会に向けた 「ガーディアンロボットプロジェクト」による分野融合研究の更なる推進のための財政的支援

【現状・課題等】

- 国土交通省スマートシティモデル事業の「スマートけいはんなプロジェクト」や平成 30 年度に組織した「京都ビッグデータ活用プラットフォーム」、令和 4 年度に採択されたデジタル田園都市国家構想推進交付金事業等、関西文化学術研究都市におけるこれまでの取組の成果も活かして、データ活用型のオープンイノベーションを推進していく。

京 都 府 の担当課	商工労働観光部 文化学術研究都市推進課 (075-414-5196)
---------------	------------------------------------

【国の事業等】

■科学技術イノベーション・システムの構築

(うち「共創の場形成支援」〔文部科学省〕 138億円)

- ▶ 令和2年度から大学等を中心とした「組織」対「組織」の産学官の共創によりエコシステムを構築する「共創の場形成支援プログラム」を開始
- ▶ 地域の中核となる大学の振興や社会変革への対応等に向けたイノベーションの創出を目指し、「共創の場形成支援プログラム」を継続

【京都府の取組】

■スマートけいはんなプロジェクトの状況（令和4年度）

- ▶ 令和3年度国土交通省スマートシティモデルプロジェクトにおいて、デジタルツイン上に水害発生等を仮想的に再現し、人や車の移動に与える影響のシミュレーションを実施
- ▶ 令和3年度補正事業である「国土交通省スマートシティ実装化支援事業」において、都市OSを介して市民向けサービス（避難誘導アプリ）に連携し、ユーザーの位置情報や属性に併せて個別最適化された情報通知や避難経路の表示を行うフィールド実証を今年度実施
- ▶ 令和4年度国土交通省スマートシティ実装化支援事業において、住民避難の高度化に係る地域実証として、被災者や避難所の位置情報、センサー検知データによる通行不能エリア情報などを活用した最適な避難ルートの提示と住民の行動変容における効果検証を実施

■けいはんなサステナブルスマートシティの状況（令和4年）

- ▶ デジタル田園都市国家構想推進交付金デジタル実装タイプ（TYPE1、TYPE2）にけいはんな学研都市を対象とする取組が採択
- ▶ 令和4年度は、ウェアラブルデバイス（スマートウォッチ）及びデジタルサイネージを整備し、サービス連動させることで、利用者の行動変容を促し、健康増進・消費促進等を図るスマートライフサービスを実装。また、スマートライフサービスの実装に必要となる、健康データや移動データ等の複数データを連携させるデータ連携基盤を整備